

令和7年度上半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	本郷児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市青柳町5丁目24番1号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,223,000 円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建 ◇敷地面積:1,468.33㎡ ◇延床面積:488.78㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室兼集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場		

●利用状況

		R7 上半期	R6 下半期	R6 上半期	R5 下半期	R5 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	6,793	6,095	6,715	6,312	6,646
	移動児童館利用者数	128	303	168	428	141
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※5(5)	※10(9)	※9(9)	※12(11)	※8(8)
	開館日数(単位:日)	156	151	154	151	155

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策	①計画どおり実施しました。 ②常勤職員3人(児童厚生員3人)を配置しました。 ③たよりについて 未就学児の保護者用と小学生用便りを毎月それぞれ発行しました。未就学児用向けおたよりの裏面に、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で記載しました。これにより、普段利用している児童館以外の施設も知っていただき、利用をしてもらえるようにしました。毎月発行するおたよりを「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただき、「ツナグテ」の利用者にも本郷児童センターのPRを行うことができました。 新1年生用特別号の作成、配布 児童センターの利用方法や施設の場所を説明した特別号を担当エリア内の小学校に持参し、新1年生に配布をお願いしました。小学生以上の児童は保護者がいなくても利用できること、入館カードの記入時に緊急連絡先を記入していただくことを記載しました。 小学生見学者用のたよりの新規作成 学校から見学に来た小学生や初めて来館した小学生用に利用案内を新たに作成しました。 ホームページによる情報提供 毎月便りの定期更新と事業の案内や活動の様子など身近に感じていただけるようブログを随時更新しました。また大雨や洪水警報など発令時の休館情報をすぐに緊急案内として更新しました。(上半期更新回数40回以上) インスタグラムによる広報・宣伝活動の充実 毎月のおたよりやフォトコーナーは、変わるたびにイベント案内やイベントで館内混雑が予想される時はハイライトに投稿し、必要な情報がすぐに見られるようにしました。 また事業の案内、募集、活動の様子なども#やBGMをつけて写真や動画でこまめに投稿をしました。そのため、「Instagramを見

	④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	ました」とイベントや平日あそびコーナー、工作などを目的に市内外から多く来館されました。 大雨や洪水警報発令時の休館や緊急情報も提供しました。Facebook やHPのリンクも貼り付け、より多くの方に本郷児童センターの情報を閲覧してもらえるようにしました。(上半期投稿回数70回以上、フォロワー280人以上) QRコードの活用によるPR 児童センターの活動を知っていただくため、HPとインスタのQRコードを館内に掲示しました。また毎月発行するおたよりにも載せました。 母子モへの登録、広報活動 幼児対象の学期ごとの幼児クラブ案内を載せました。母子モを見て新規来館され、幼児クラブに参加された利用者もいました。市内の様々な校区から参加がありました。 子育て中の保護者に対するイベント情報提供 保健師が取りまとめている未就園児対象のイベント一覧表に本郷児童センター幼児クラブの情報を載せてもらいました。 イベント案内版について 館内に行事の案内板を作り、未就学児用と児童用に分けて利用者にわかりやすいように掲示をしました。工作は見本も一緒に掲示をしました。 ④ご意見箱を玄関に設置し、いつでも利用者からのご意見・ご要望を記入していただけるようにしました。また、苦情解決の仕組み・苦情の申出先を館内掲示することで、苦情に対し適切に対応することができる体制としました。 アンケートによる利用者の意見調査 保護者51人、児童50人を対象に6、7月に実施しました。職員、施設、事業について回答をしていただきました。イベント参加者だけでは偏った意見になるため、一般利用者の児童、保護者、祖母、母親クラブに参加の方にもご協力をいただき回答をしていただきました。 結果について館内に掲示をしました。ホームページにも掲載し、広く公開しました。パンフレットコーナーに印刷したものをおきました。 ⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理者点検マニュアルにもとづき保守点検を適切に実施しました。 ②施設の清掃は、職員による日常清掃と就労継続支援B型事業所による週2回の清掃を実施しました。 園庭の草は草刈り機を使用し定期的に刈り、花壇の手入れも適宜行いました。 岐阜版アダプト・プログラムに申込み、児童センター周辺道路や地域の清掃活動を実施しました。 幼児が使用するおもちゃは、昼と夕方に清拭消毒を行い、拭くことのできない人形や本はオゾン保管庫で行い、感染対策を継続して実施しました。 玄関に消毒液を、手洗い場やトイレはハンドソープと消毒液を設置しました。 快適で安全に施設を利用していただくため、幼児室とおもちゃ図書館は業者に清掃をしてもらいました。エアコンの温度管理と換気に気をつけました。 ③未使用の部屋の消灯、室内の適正な温度管理に努めました。エアコンフィルターの掃除や月1回空気清浄機のフィルター掃除を行い、節電に努めました。 おもちゃ病院ぎふに壊れたおもちゃの修理を依頼し、おもちゃが長く使えるようにしました。廃材を活用した事業を実施し、環境に配慮しました。地域の資源分別回収へ資源ごみを出しました。 ④専門業者による設備、遊具の点検を依頼しました。毎日の日常点検と月1回、職員による施設内外の安全点検、月2回のAED点検を実施しました。おもちゃは昼と夕方、2回の消毒の際に点検を行い、備品の維持管理に努めました。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施	①修繕要望書を、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に提出しました。利用者の安全性が確保できない遊具は、利用を中止しました(夏場の外遊具など)。毎日職員が点検を行い、危険個所がないように気をつけました。

	②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者（本部）並びに岐阜市に要望を提出しました。軽微な修繕（玄関内や館内の壁のペンキ塗り、タイルの補修の交換）は職員が行いました。
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規定、災害対策マニュアル、児童福祉法等関係法令を遵守し適切に実施しました。 また災害や事故が発生した場合には、岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告をしました。防犯・防災訓練（毎月１回）を実施しました。事務室を離れる時は、緊急通報装置を携帯しました。警察に定期的に巡回を依頼しました。 個人情報が記載された用紙については、鍵のかかる場所に保管し、使用後すべてシュレッダー処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。電子メールの誤送信対策の徹底を図りました。メールアドレスを他者に漏洩することがないように電子メールを使用して一斉配信をする際は、自動的に BCC に変換できるソフトを導入し、対策しました。 また、大規模災害対策として飲料水や非常用の菓子の他に、ヘルメットやフリーズドライの食事を準備しました。非常持ち出し品のチェックリストを作成しました。 熱中症対策として熱中症警戒アラートや暑さ指数を受付に掲示し、警戒アラートや暑さ指数が危険の場合は外あそびを原則中止としました。熱中症の疑いがある利用者用に飲料水や塩飴、冷タオルなどを常備し、すぐ手当をできる準備をしました。

●利用者評価

利用者アンケート の実施状況 及び実施結果	＜保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート＞											
	【期間】		令和7年 6 月 11 日 ～ 7 月 10 日									
	【回答者数】		51 人									
	【校区】		明郷: 8 人 徹明さくら: 5 人 岐阜: 4 人 島: 4 人 鏡島: 4 人 早田: 3 人 市橋: 2 人 本荘: 2 人 その他市内: 18 人 その他市外: 1 人									
	【年齢】		10 代: 0% 20 代: 8% 30 代: 75% 40 代: 12% 50 代以上: 6%									
	【評価】											
	(あいさつ)		満足:	92%	ほぼ満足:	8%	普通:	0%	やや不満:	0%	不満:	0%
	(言葉づかい)		満足:	92%	ほぼ満足:	8%	普通:	0%	やや不満:	0%	不満:	0%
	(利用者対応)		満足:	84%	ほぼ満足:	14%	普通:	2%	やや不満:	0%	不満:	0%
	(利用しやすさ)		満足:	88%	ほぼ満足:	12%	普通:	0%	やや不満:	0%	不満:	0%
(整理整頓)		満足:	90%	ほぼ満足:	10%	普通:	0%	やや不満:	0%	不満:	0%	
(清潔感)		満足:	92%	ほぼ満足:	8%	普通:	0%	やや不満:	0%	不満:	0%	
(換気)		満足:	88%	ほぼ満足:	12%	普通:	0%	やや不満:	0%	不満:	0%	
○その他アンケートの内容と結果は、別紙のとおり。												
	＜小・中・高校生用アンケート＞											
	【期間】		令和7年 6 月 11 日 ～ 7 月 24 日									
	【回答者数】		50 人									
	【学年】		小学: 1 年 2 人 2 年 6 人 3 年 7 人 4 年 3 人 5 年 13 人 6 年 13 人 中学: 1 年 4 人 2 年 0 人 3 年 2 人 高校: 1 年 0 人 2 年 0 人 3 年 0 人 無回答: 0 人									
	【学校名】		明郷小 38 人 岐阜中央中 6 人 島小 2 人 鏡島小 22 人 その他市内 2 人 その他市外 0 人									
	○その他アンケートの内容と結果は、別紙のとおり。											
	イベントの告知をInstagramでもしていただけると助かります。 →インスタに載せてあるお便りにイベントについてもすべて記載されていますので、ご覧ください。 次月の予定(Instagram)が、もう数日早いと嬉しいです。→頑張ります。 かるたやパズル・ぬりえがあると嬉しいです。(年中の娘の希望) →かるたは貸出をしています。パズルを用意しました。ぬりえについては幼児室で色鉛筆の使用は危険のためご用意できません。 2 才の孫が大好きなブラレールのレールがもう少し増えると嬉しいです。(勝手をいいます。) →入口 & 荷物置き場近くのため、たくさん人が通るところですので、道路とレールこれ以上増やすのは難しいです。時々レールの入れ替えをします so 楽しみにしてください。 お弁当を食べられるところが欲しいです。→アレルギーをお持ちの方も利用されますので、ご用意できないです。 もう少し空調が整うとなお嬉しいです。→部屋が暑かったり寒いときは職員にお伝えください。調節します。 図書室にゴミ箱を置いてほしい→宿題の消しゴムかす用ゴミ箱を用意しました。											

●指定管理者の選定基準に基づく評価(本郷児童センター)

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保 されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	S	S	S
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、 対象施設の効用(設置 目的)を最大限発揮する ものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者のニーズ、苦情の把握 ・利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、 管理経費の縮減が図ら れるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体力増進指導に関し知識技能を有する者)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	S	S
		区分評価				S
貢献性	事業計画書の内容が、 岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	□業務改善や工夫、新規事業について(効果性③) 新規事業 ・小学生による絵本の読み聞かせの会 小学生が来館している幼児に絵本の読み聞かせをしてくださいました(5月、8月)。絵本を選び、練習をしてから幼児と保護者の前で行いました。アンコールがあり、幼児が選んだ絵本も読んでくれました。参加してくれた幼児・保護者から温かい拍手とお礼の言葉があり、とても喜び、またやりたいと話してくださいました(1人の小学生は、低学年の時、音読が苦手だったようで、とても自信につながったようでした)。 ・子育て相談の実施 育児で困ったことをいつでも相談できるようにするため、施設のタブレットを使った子育て相談を行いました。相談のため来館された保護者の方に、昨年度まで年に数回来館していただいていた、沖ノ橋認定こども園保育士と元児童館職員の2名に必要であれば日時を合わせてすぐに相談できる体制をとりました。中学生の生活について困っていることで専門医を紹介していただくなど真摯に相談にのっていただきました。 ・木育ひろばの開催 森と木からの学び「ぎふ木育30年」のステップ1(幼児期)の木のおもちゃで遊ぶ「木育ひろば」を開催しました。5月の最終週を木育ウィークとし、安全に配慮するため年齢別に3回と母親クラブの本郷子育てサークルで1回実施しました。木のおもちゃと触れ合うことで温かさがつたわり、木が自然に好きになるよう講座を開催しました。保護者にも幼児期に木に触れ合うことで心の安定につながることを伝えました。参加後、木のおもちゃであそぶ親子が多くなりました。 業務改善や工夫 ・土日祝日の未就学児対象イベントの充実 「お父さんとあそぼう」の開催 毎月第2、4土曜日の午前に定期開催しました。平日勤務のため幼児クラブに参加できない父母も未就学児と参加できると喜ばれました。いつも母親と参加している幼児も、父親とさらにダイナミックなあそびができて喜んでいました。参加されていた父親に、実子が選んだ絵本の読んでもらうなど、クラブを盛り上げていただきました(上半期8回開催 平均6家族 110名以上参加)。 「休日あそびのひろば」の開催 土日祝日に不定期に開催しました。父の日や敬老の日のプレゼント用の足形アートや工作、親子で体を使って楽しむあそびを中心に行いました(80名以上参加)。 「多世代交流リトミック」の開催 平日に開催しているリトミックを、家族みんなで参加できるように多世代交流リトミックとして土曜日に開催しました。小学生も含めた年長児も参加できるイベントを開催してほしいと要望があり、開催をしました(20名参加)。 ・保健師さんによる事故防止の話と個別相談の実施 保健師さんに来館していただきました。「事故防止」についての話をしてもらいました。浴室や夏季に多い水遊び中の事故を防ぐお話をいただきました。職員も、水を利用したイベントの際に気を付けるべき点を再確認できました。また 身長、体重測定と子育ての中で心配なこと、成長に関わる悩みなど母親に寄り添った個別相談会も実施しました。相談できてよかったと喜んでいただきました。 ・元児童館職員による0才幼児クラブの開催 月に1度来館していただき、親子ふれあいあそびやベビーマッサージなどを教えていただきました。 ・絵本コーナーの充実 岐阜市で購入してもらった絵本のうち10冊を同一法人の児童館・児童センター9館を1か月ごとに順に回覧し、利用者が新しい絵本を常に取り替えるようにしました。絵本棚に回覧絵本の特別コーナーを作り、本郷児童センターにはない絵本を楽しんでいただきました。「前はこの絵本なかったね。おもしろいね。」など家族で絵本を楽しんでいただけました。 ・こども委員会で意見のあったイベントなどの開催 土曜日に事業で実施している工作を夏休み以外の平日にもできるように準備をしました。夏休み期間は平日工作や毎日縁日の開催をし、毎日参加してくれる児童がたくさんいました。保護者からも「本当に児童センターがあって助かります」、「親もどんな工作が作れるのか楽しみです」などと喜んでいただきました。宿題ルームも継続し、宿題をするため訪れていました。 □利用促進や利用者増に繋がる方策の実施(効果性⑥) ・毎月のたより発行と児童館・児童センターの場所を掲載 未就学児の保護者用と小学生用便りを毎月それぞれ発行しました。未就学児用向けおたよりの裏面に、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で記載しました。これにより、普段利用している児童館以外の施設も知っていただき、利用してもらえるようにしました。 ・新1年生用特別号の作成、配布 児童センターの利用方法や、施設の場所を説明した特別号を担当エリア内の小学校に持参し、新1年生に配布をお願いしました。小学生以上の児童は保護者がいなくても利用できること、入館カードの記入時に緊急連絡先を記入していただくことを記載しました。配布後、1年生が保護者と来館しました。 ・小学生見学者用のたよりの新規作成 学校から見学に来た小学生や初めて来館した小学生用に利用案内を新たに作成しました。 ・ホームページによる情報提供 毎月便りの定期更新と事業の案内や活動の様子など、身近に感じていただけるようブログを随時更新しました。HPを見て来館される利用者もいました。また、大雨や洪水警報など発令時の休館情報をすぐに緊急案内として更新しました。(上半期更新回数40回以上) ・Instagramによる広報・宣伝活動の充実 毎月のおたよりやフォトコーナーは、変わるたびにイベント案内やイベントで館内混雑が予想される時はハイライトに
--------------------------	--

	投稿し、必要な情報がすぐに見られるようにしました。 また事業の案内、募集、活動の様子なども#や BGM をつけて写真や動画でこまめに投稿をしました。そのため イベントや平日あそびコーナー、工作などを目的に市内外から多く来館されました。 大雨や洪水警報発令時の休館や緊急情報も提供しました。 Facebook やHPのリンクも貼り付け、より多くの方に本郷児童センターの情報を閲覧してもらえるようにしました。(上半期投稿回数70回以上、フォロワー280人以上) ・QR コードの活用による PR 児童センターの活動を知っていただくため、HPとインスタの QR コードを館内に掲示しました。また毎月発行するおたよりにも載せました。 ・母子モへの登録、広報活動 幼児対象の学期ごとの幼児クラブ案内を載せました。母子モを見て新規来館され、幼児クラブに参加された利用者もいました。市内の様々な校区から参加がありました。 ・子育て中の保護者に対するイベント情報提供 保健師が取りまとめている未就園児対象のイベント一覧表に本郷児童センター幼児クラブの情報を載せてもらいました。 ・「ツナグテ」利用者への PR 毎月発行するおたよりを「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただき、「ツナグテ」の利用者にも本郷児童センターのPRを行うことができました。 ・幼児クラブ申し込み連携 登録制幼児クラブで定員を上回る応募があり、残念ながら抽選に漏れてしまった方に対して、他館の幼児クラブに空きがある場合、幼児クラブを紹介できる体制を構築しました。 ・土日祝日の未就学児対象イベントの充実(再掲) ・保健師による事故防止の話と個別相談の実施(再掲) ・元児童館職員による0才幼児クラブの開催(再掲) ・沖ノ橋認定こども園の保育士と元児童館職員の子育て相談の実施(再掲) ・年齢別リトミックの開催 毎月1回リトミッククラブを開催しました。安全に配慮するため年齢別で実施し、年齢が変わると先生も変わるため 内容も新鮮で人気がありました。定員がいっぱいになった時は、キャンセル待ちをしていただき、欠席の時は、キャンセル待ちの方に優先的に参加していただきました。当日キャンセルなど定員に空きがある場合も、リトミック開催を知らずに来館した方に声をかけ参加をしてもらいました。「子どもが喜んでいました」、「参加してよかったです」、「楽しかった」と言われ、次回の申し込みをされていました。 ・未就園児対象自由参加の集いを年齢別に開催 年齢別に自由参加の幼児クラブ「0才の集い」、「1 才の集い」、「2才以上の集い」を開催しました。本郷児童センターの周りは市内中心部で転勤族が多く、学期ごとの登録制幼児クラブにすると次の申し込みまでお待たせすることになるため、いつからでも参加できるよう自由参加としました。予約なしの自由参加を気軽に参加できると評価していただきました。 ・0才と1才対象にハイハイよちよちレースを開催 毎月第2木曜日、金曜日に開催している「ハイハイレース」や「よちよちハイハイレース」に参加できることを目指して0才の集いや1才の集いに参加される方も多くなりました。自分のお子さんだけでなく、他のお子さんのがんばりをほめたたえる、笑顔いっぱいの中で開催できました。 ・絵本ライブの開催 絵本好きな子に育ってほしいという保護者の思いを受け止めるため「絵本ライブ」を6月に開催しました。体を動かしながらギターを生演奏で絵本を楽しむため幼児親子に喜ばれ、終了後は絵本を見ている親子が増えました。 ・京町保育所の保育士によるあそびの会 京町保育所の保育士に2か月に1度来館してもらい、0才親子にふれあいあそびを教えてもらいました。毎回新しいあそびやふれあいあそびを教えていただけなので、参加される親子も楽しませていました。職員も、新しいふれあいあそびを学べるよい機会でした。 ・工作や遊戯室での遊びのコーナーを平日毎日実施、フォトコーナーを季節に合わせて用意 幼児の手形・足形を使った工作を実施しました。父親や祖父母へのプレゼントと誕生日用は人気でした。また、毎月変わる月ごとの作品を楽しみに毎月来館されるリピーターも多かったです。初めて利用される方に説明すると「平日は毎日工作や手形足形アートができるのですか？」と喜ばれる方が多く、すぐに制作される方も多かったです。アンケートにもほかの館では決まった日しかできないので平日毎日対応してもらえる点を評価してもらえました。 「自宅で作るととても大変できれいに取ってもらえるからうれしいです」、「月毎に変わるのが楽しみです」と喜ばれていました(250名以上参加)。 工作も季節に合わせて毎月変わるので作るのを楽しみに来館される方もいました(130名以上参加)。 遊戯室でのあそびのコーナーを週替わりでイベントのない平日に毎日実施しました。今年の夏は外で遊ぶことができない暑い日が多く、広く涼しい部屋で体を思いっきり動かせるので嬉しいですよと好評でした(400名参加)。 フォトコーナーも季節に合わせたものを準備し、HP やインスタグラムで変わるたびにお知らせをしました。変わるたびに写真を撮りに来館される親子もいました。 ・未就学児対象に出席カードの作成 来館するたびにシールが貼れるカードを用意し、未就学児も来館する楽しみをもっといただけるように準備しました。1枚のカードがいっぱいになる毎に、職員の作った折り紙をプレゼントしました。 ・子どもの意見を聞くためこども委員会の開催、意見を取り入れた活動の実施 7月に「こども委員会」を開催しました。 今回は選挙の時期だったので、みんなの前で自分の意見ややりたいことを話せない児童のために投票制にしました。 昨年度に行ったアンケートや、3月のこども委員会の意見から新しく購入したおもちゃや本も好評で、自分たちの意見が反映されていることを喜んでくれました。ボランティアをして、感想を書く夏休みの宿題があり、児童センターの事業の手伝いをしてもらいました。また障がい者施設の訪問や母親クラブ夏まつりの手伝い、「絵本の読み聞かせ」を幼児保護者対象にしてもらいました。
--	--

	・安心して遊べる環境づくり 職員による施設点検を毎朝実施。感染症のリスクや壊れたおもちゃでけがをしないよう幼児が使用のおもちゃは、昼と夕方に消毒と点検を行いました。 □人材育成の方策(安定性⑫) ・スキルアップ研修会 「こどもへの言葉のかけ方(6/24 サンフレンドみわ児童センター)」声がけで気をつけるポイントなどを学び すぐに実践できました。 「各館の人気のおもちゃ おすすめおもちゃ・ゲーム(7/9 サンフレンドうずら児童センター)」他法人の職員も参加されたことで、今後購入するおもちゃの参考になりました。 ・虐待防止研修会(6/4 講師:岐阜県警察本部少年サポートセンター)児童虐待の実態と近年の子どもについて学ぶことができました。 ・熱中症対策研修(6/5 講師:中保健センター保健師)幼児が熱中症なりやすい理由とならないための対策と緊急時に必要なものについて学びました。 ・普通救命講習(6/12 講師:中消防署)緊急時の対応について学びました。 ・新規採用者職員研修会(7/2 講師:元児童館職員)児童館ガイドラインの内容を理解し、どのような活動をする必要があるかを学びました。 ・岐阜県子育て支援事業従事者等研修「子どもの発達と支援」(9/10 WEB 講師:中野たみ子)子どもの発達は生活が便利になったことで使わない身体の部分があることにより成長が遅れている児童もいるため、いろいろな部分を使う体験をあそびの中でしていく必要性を学びました。 ・発達障がい児と保護者への対応研修会(9/25 講師:エールぎふ)障がいの特性を理解し、子どもに対して肯定的な対応をするなど職員が気をつけることを学びました。 □地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用(⑭) ・岐阜高校生と0才乳児とのふれあい活動事前打ち合わせ 12月に事業を開催するため、岐阜高校の先生と打ち合わせをしました。 ・児童ボランティアの育成 昨年度3月と7月のこども委員会で児童のやりたいことを活かし、事業の手伝い(幼児クラブ、お父さんとあそぼう、読み聞かせ、母親クラブ「夏まつり」、障がい者とのふれあいやフォトコーナーの準備)をしてもらいました。 ・母親クラブなど子育てサークルへの協力 昨年度まで毎月1回の本郷校区の自主運営子育て支援サークル「コアラ」、明徳校区の親子ふれあい教室「とっこクラブ」はそれぞれ別々に活動をされていましたが子どもの人数の減少から参加者が少なくなりました。今年度から月に1回程度2つのサークルを合同で 本郷児童センターでの開催としました。活動内容が充実したものになるように 新たに木育ひろばや講師の紹介をし 計画立案や活動へ協力をさせていただきました。合同開催にしたことで、参加人数が増え、活動の幅が広がったと参加者はもちろん役員にも喜ばれました。 ・リトミック講師の依頼 地元出身の方に2才リトミック講師として依頼しました。 ・絵本ライブの開催(再掲) 地元にお住いのおおきな木の杉山さんに絵本ライブを依頼しました。 ・元児童館職員による子育て相談や0才の幼児クラブを依頼しました(再掲) ・沖ノ橋認定こども園の保育士による子育て相談の実施(再掲) ・社会福祉士を目指す実習生の受け入れ 就労支援施設に実習で訪れていた学生2名が児童館活動にも興味があるということで夏休み中の 2 日間実習をしてもらいました。 ・地元の方からの寄付を活用 折り紙で作った箱や傘をいただき 幼児の工作、小学生のくじ引きなどの事業に活用し、利用者の方には大変喜んでいただきました。 ・おもちゃ病院の開設に協力をさせていただきました。 ・当法人内の就労継続支援B型事業所による施設清掃を実施しました。 □地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(貢献性⑮) ・明郷小コミュニティ・スクールに参加し、小学校や中学校の先生や地域の方々との情報交換を行いました。岐阜や徹明さくら小学校へも、子どもたちに何か変化があれば、迅速な対応ができるようにしました。 また明郷コミュニティスクール「地域教育部」の委員の委嘱を受け、委員会に参加し地域の方々との意見交換も行いました。 ・子ども 110 番の家の登録をし、子どもが助けを求めた際、その子どもを保護し、必要により警察、学校、家庭などへ連絡するなど、地域ぐるみで子どもたちの安全を守るため、子ども 110 番の家に登録しています。月ごとの下校時刻の一覧表をいただき、児童センター前を通る下校時の見守りに協力をしています。児童センター以外で負ったケガの手当て、下校したが保護者が不在のため自宅に入れないときに声をかけるなど対応しました。 ・本郷けやきまつりへの協力 本郷校区にある就労継続支援B型事業所2施設と協力してコーナーを出すため、打ち合わせをしました。本郷児童センターは幼児が参加できるコーナーが少ないため 廃材を利用したおもちゃ作りコーナーの準備を始めました。 ・本郷市民文化祭へ参加 展示部門へ参加をするため、児童ボランティアと一緒に準備を始めました。 ・本郷児童センター担当エリア内、青少年育成市民会議家庭部会主催の明徳、京町、本郷校区親子ふれあい教室の開催に協力をさせていただきました。市中心部の子どもが減ってきている中、近所に子どもがいないという保護者の方が多く、教室に参加することで知り合いになるきっかけ、出会いの場のお手伝いができました。 ・第3ブロック(金華、京町、明徳、本郷、木之本、早田、徹明、梅林、白山、華陽、本荘校区)合同親子ふれあい教室の開催に協力をするため、日程や活動内容の打ち合わせを行いました。
--	---

	・本郷青少年育成市民会議家庭部会との連携をし、親子で楽しめるふれあいあそびや工作の紹介、絵本の読み聞かせやふれあいあそびの講師紹介をしました。 ・地域の資源分別回収へ資源ごみを出しました。 ・児童センター周辺道路や地域の清掃活動を実施する、岐阜版アダプトプログラムに参加し 児童センター周辺の清掃活動を毎週1回以上実施しました。ご近所の方にいつもきれいにさせていただけてありがとうございますと感謝をされました。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	□小学生の工作を出展するなど、子どもたちが他者から認められるような場の提供をしている点は評価できる。 → 今年も文化祭の展示が決まり、児童の意見を取り入れ作品の準備を進めています。地域の方に児童センターの活動をもっと知っていただけるようにしていきます。 □小学校の先生と情報交換会を実施しており、学校と連携して子どもたちを見守っている点は評価できる。 → 6月、9月開催の学校運営協議会に参加し、学校や地域の方が、今、課題としていることを知り、児童センターが協力できることをさせていただきました。通学時の見守り隊の人員が減少してきているため、児童センター前を通る下校時の見守り、「わたしたちのあそび」を開催するためできることがあれば協力をさせていただくことを伝えました。 □高校生と乳児とのふれあい活動を実施し、高校生に乳児と触れ合える機会を提供している点は評価できる。 → 今年も12月に開催するため、高校の先生と日程や内容について打ち合わせを行いました。 □子ども委員会を開催するなど、子ども主体の仕組みを構築しようとしている点は評価できる。 → 定期的にこども委員会を開催することで、今どんなことがやりたいかを聴き、子どもが主体となる楽しめる児童センター作りを行いました。おもちゃや本の要望、イベントについて意見を取り入れることで夏休みの来館が昨年度より増加しました。
今後の取組み	□利用者とのふれあいやアンケート調査の中からどのようなことが児童センターに求められているのかを知り、できる限り利用者の要望に合わせた事業を実施して参ります。 □今年度になり様々な病気や感染症患者の増加があり、利用者が安心して利用できるよう、今後も掃除やおもちゃの消毒を実施し、衛生管理に気をつけて参ります。 □職員だけでは不足する部分は、運営委員や地域の方、講師やボランティアの力を借りし、事業を開催して参ります。 □12月と3月にこども委員会を開催し、児童の意見を取り入れた活動の開催や居場所作りを行って参ります。 □子どもや保護者の支援に役立つ研修に積極的に参加し、職員全員の資質向上を図って参ります。

●所管課の意見

○小学生による絵本の読み聞かせ会を開催し、絵本を聞く楽しさだけでなく、絵本を読む楽しさの機会を作っている点が評価できる。

○幼児の手形・足形を使った工作を毎日行っており、祖父母へのプレゼントなどにも利用されているなどし、リピーターを増やす取り組みを行い、成果が上がっている。

●指定管理者評価委員会の意見

○小学生による幼児への絵本の読み聞かせを行うなど、異年齢間交流の機会を積極的に作っている点は評価できる。

○その他、すべての評価項目が業務要求水準以上となっており、適正に管理運営が行われている。